

活動寫眞



—明治・大正映画事情—

平成8年1月29日～2月23日

明治29年(1896年)、映画(キネトスコープ)が日本に輸入されて100年がたちました。これにちなんで、今回の展示は、映画が「活動写真」と呼ばれていた明治・大正期にスポットをあててみました。

当初の上映作品は、「ナイアガラの瀑布」など実写もので、ストーリーはありませんでした。ストーリーを持った作品が上映されるようになっても、日本映画は内容が稚拙だったため「子供や子守女の娯楽」と卑しめられられましたが、一方、洋画は当時の若き知識層であった学生の支持を得ました。その後、彼らの中から日本映画の改革者が生まれ、日本映画の発展に寄与しました。

また、映画の流行は新たな社会問題を生み出しました。特に明治44年(1911年)、怪盗映画「ジゴマ」の大ヒット後、生徒の映画館出入りの制限が広くおこなわれるようになり、大正6年(1917年)には、映画の事前検閲制度が始まりました。

 展示資料一覧 

<>内は当館請求記号

1. 「寫眞舞踏の御覽」

神戸又新日報

<YB-369>

明治29年(1896)11月19日

2. 「神田錦輝館の活動大寫眞の図」

風俗画報 東陽堂

<雑23-8>

138号 明治30年(1897)4月10日

3. 活動寫眞百科寶典

- 梅屋庄吉著 <342-16>
東京 梅屋庄吉 明治44年(1911)
4. 活動寫眞の原理及應用
權田保之助著 <349-414>
東京 内田老鶴圃 大正3年(1914)
5. 史料参考アントニーとクレオパトラ寫眞帖
谷内松之助著 <406-51>
東京 電気館 大正3年(1914)
6. 小川誠耳「活動寫眞劇及作者を論じて製造家に及ぶ」
キネマ・レコード キネマ・レコード社 <Z769.05-Ki1>
2巻8号 大正3年(1914)2月17日
7. 淺草電気館上演寫眞「白雪姫」
日本映画初期資料集成1 活動寫眞雜誌 <KD652-E67>
(1巻1号 大正4年(1915)6月)
8. 吾輩はフィルムである
岡村紫峰著 <364-140>
東京 活動寫眞雜誌社 大正6年(1917)
9. 活動寫眞撮影術寶典
フレデリック・エー・タルボット著 梅屋庄吉訳 <365-50>
東京 梅屋庄吉 大正7年(1918)
10. 「舊劇『飛加藤』(日活京都派作)」
活動畫報 飛行社 <Z11-795>
2巻8号 大正7年(1918)8月
11. 時局講演集上巻 活動寫眞取締
警察講習所學友會 小幡豊治著 <370-105>
東京 警察講習所學友會 大正8年(1919)
12. ジゴマ
-

